

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価 担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	環境保全推進課
	施策	ごみの減量と再資源化の推進	電話番号	087-839-2393	
	基本事業	ごみの発生抑制の推進	事業実施主体		
	事務事業	事業系ごみ減量推進事業	事業期間	平成 28年度～平成 35年度	

【事業全体概要】

事業の概要	事業の用に供する延べ面積3,000㎡以上の建物を有する事業者（多量排出事業者）に対し、「事業系一般廃棄物減量等計画書」の提出を求めるとともに、優秀な取組をしている事業者をエコシテイたかまつ優良事業者として表彰する。また、地球にやさしいオフィス・店の登録事業者やエコシテイたかまつ優良事業者等の事業系ごみ減量推進に向けた取組状況をホームページ上で公表し、市内事業者への事業系ごみ減量の推進を呼びかける。		
29年度概要	事業の用に供する延べ面積3,000㎡以上の建物を有する事業者（多量排出事業者）に対し、「事業系一般廃棄物減量等計画書」の提出を求めるとともに、優秀な取組をしている事業者をエコシテイたかまつ優良事業者として表彰する。また、地球にやさしいオフィス・店の登録事業者やエコシテイたかまつ優良事業者等の事業系ごみ減量推進に向けた取組状況をホームページ上で公表し、市内事業者への事業系ごみ減量の推進を呼びかける。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


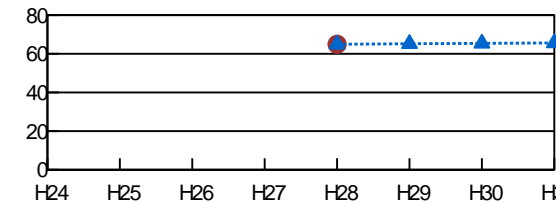
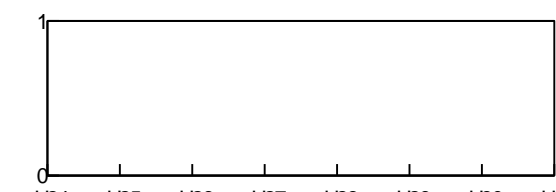
【事業の目的】

対象（何を）	事業の用に供する延べ面積3,000㎡以上の建物を有する事業者および事業者が排出する事業系一般廃棄物
意図（どのような状態にしたいか）	対象事業者に対し、事業系一般廃棄物減量等計画書の作成および計画の実行に取り組んでもらう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
一般廃棄物減量等計画書受付件数	件			258	260	270

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	多量排出事業者の廃棄物リサイクル率	%	目標値			64.9	65.2	66
			実績値			64.9		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 多量排出事業者の廃棄物リサイクル率の中期目標を66.0パーセントとし、年0.2～0.3ポイントの増加を目指す。なお、平成28年度の目標達成度は、100パーセントであった。 	(目標達成度)						(達成度) 100.0% 35点
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	4,073	3,852	3,930	3,956
（事業費）	[円]	13	13	4	30
（職員人件費）	[円]	4,060	3,839	3,926	3,926

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
----------------	---	------------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成 28年度は、多量排出事業者に対し、「事業系一般廃棄物減量等計画書」の提出を求めたところ、廃棄物リサイクル率は、5年前の51.9パーセントに対して、13ポイント増の64.9パーセントとなっており、中期目標値としている66.0パーセントに対しても、98.3パーセントの達成率を示した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

多量排出事業者の廃棄物リサイクル率の中期目標を66.0パーセントとしており、今後、年0.2～0.3ポイントの増加するよう対象事業者への働き掛けを継続する。